



座光寺風景

一列に並んで田植え作業

岐阜県多治見市東陶^{とうとう}中学校の生徒さんによる農業体験。慣れない田んぼに悪戦苦闘しつつ、歓声のなかにも真剣なまなざしが見えました。(場所：河原地区)

故郷を遠く離れ避難生活をされている方々には、今年の花見はどのように映ったか図り知れませんが、私達の地域も、中部電力浜岡原発の停止問題が投げかけている様に、三十年間の内のいつ、明日になるか、三十年先になるか、大きな地震災害問題を抱えています。

この機会に座光寺地区防災計画の再確認をすともにも、個人、家庭で出来る耐震診断、家具の転倒防止等、日頃の心構えと、災害に遭った時、何ができるのかについて等、改めて考えさせられました。

四月九日(土)桜まつりに併せて、飯田市に避難されている南相馬市の皆様を御招待致しました。

桜はまだ七分咲きでしたが、旧ラドン温泉に避難されている十六人の方の内、五人の方に参加いただきました。当日は元善光寺参拝後、舞台桜に移動して子供ガイドによる案内、竹田人形館、抹茶接待と、本当に短い時間でしたが座光寺地区の文化の一旦に触れて頂きました。

南相馬市の方々
「麻績の里桜まつり」に御招待

震災義援金経過報告

皆さまのご協力により下記のとおり義援金が寄せられました。自治振興センター窓口での受付は継続して行っていますのでお願いいたします。

東日本大震災義援金(自治振興センター受付分) 505,163円
(5月31日現在)

- ・麻績いきいき大学より 50,000円
 - ・座光寺コミュニティーコンサート実行委員会より 50,000円
 - ・コミュニティーコンサートin座光寺受付分 5,170円
- 上記3つについては直接長野県栄村に義援金として送金いたしました。



竹田人形との交流に笑みがこぼれます

平成二十三年 座光寺地域自治会重点事業

平成二十三年 自治会活動について

自治会長 湯澤 英範



この度、非力を顧みず再び自治会長を務めることとなりました。倍旧のご指導ご鞭撻をよろしく願います。

地域自治の運営で心掛けておかねばならないことは、たとえ役員の交代があつたとしても、事業の継続性が保たれ

皆が笑顔で良いマナー

生活安全委員会

委員長 池場 高男



平成二十三年度もスタートしまして、生活安全委員会として今期は委員も新たにになりましたが、一丸となって事業を果すのようになっています。

る体制が整っていることが肝要であると考えています。

今年、「基本構想・基本計画」が、五年を経過して、情勢変化に対応しての見直し作業を行います。そのプロセスを大切に、地域の羅針盤である「地域像」を多くの皆さんが共有し、持続的な地域づくりの礎を固める努めを果たして参りたい。この外、喫緊の課題として、あと二年に迫った工業高校後地利用に関する対応や買物弱者と言われる高齢者の移動対策、更には、東日本大震災に学び住民の安全

す。子供を見守り、事故を減らす啓発をします。

高齢者の交通事故も相変わらず多いことも考慮して、皆が注意して、不幸な事故を少なくしたいものです。ゴミの投げ捨てや、交通事故は皆が意識をもっていれば防げます。座光寺も物損事故が多い地形です。

子供との触れ合い、高齢者とともに意識の高揚を図り、皆と笑顔で、地域が明るく元

確保を優先した防災体制の確立、地区内道路の整備促進など課題山積。そこで今日まで培ってきた知恵と汗を結集して住みよい座光寺のために共に取り組んで参りましょう。

今年度の基本方針と 取り組み方

健康福祉委員会

委員長 清水 明



健康福祉委員会の委員長を引き受けて二期目に入りました。二期目は、一期目の経験を生かしながら、もう一歩踏み込みこんだ形で取り組みたい

気なところになったらいい。楽しく委員会もでき、やって良かったと、聞いて良かったそんな会をもちたいと考えています。

何より自分で、正しく見て、安全を確認することが第一です。「自分の命は自分で守る。」これが大事！安全を知る祭り、集いをやりたいと思います。

位と思っております。

内容的にはそう変化しませんが、私なりに考えて三つの重点方針を掲げました。その一つが「認知症の学習」に関することです。今年には更に単位を小さくして地域での学習会を実施したいと思っております。又、委員研修を通して、認知症サポーターの養成も図っていきたくは計画しています。できれば飯綱町か大桑村から講師に招いて福祉講演会を開催することができれば、とも思っています。二つ目は座光

プラスの3K志向で！

環境衛生委員会

委員長 菅沼 浩一



環境衛生の作業は、とかくマイナスの3K（きつい、きたない、きけん）の面に目が行きがちです。ですが、私たちの思いはプラスの3K（きれいな、きもちよい、きちつとした）志向です。

各地区は、それぞれ程度の差こそあれ、昨今の少子高齢化の例にならぬお年寄りが増え、若者が少なくなり、その

寺地域有償移送サービスの立ち上げ、三つ目は、結婚相談事業です。どれ一つ取っても、一朝一夕ではできない事ばかりですが、座光寺地域が本当に安心して暮らせる地域づくりをめざして、出来ることから取り組んで参ります。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

ことから地域の戸数も減少傾向です。それで、毎年初夏に行われる河川清掃など、上記のマイナスの3Kが伴う作業などは、どうしても腰が引けがちになってしまふのも事実です。

こうなりますと、皆が一律、一斉、一同に作業できるわけがありません。ですから、自分たちでできる範囲で参加したら良いのではないのでしょうか。お年寄りが、又は女性が自分の体力に合わせ、例えば土手の空き缶を拾うのも大事な地域活動への参加だと思えます。そのことよって、また地域とのつながりも深まるのではないのでしょうか。この様な考え方で環境衛生の任を担っていただけらと思います。

地域社会の連帯意識の醸成と地域の担い手づくりに努めます

公民館長 小島 稔



公民館は地育力向上の拠点として、地域の特色ある自然や文化資源を基に、地域住民の学習や交流を支援し、コミュニケーション意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。体育部は、スポーツを通して健康増進と地域の絆を深められる諸行事を企画実施します。文化部は、地域住民の文化活動を支援すると共に、歴史

文化の継承に努め、地域の文化度の向上に努めます。

育成部は、栽培(米・野菜)活動、自然(水辺・里山)遊び、科学工作、桜ガイドなどこの地域ならではの体験学校を開催し、ふるさとへの愛着と誇り、そして心身の逞しい子供の育成に寄与します。

広報部は、地域の営みを丹念に記録すると共に、地域住民の様々な情報を発信し、地域を繋ぐ役割を大切に、研修の機会も設けながら読み易い広報紙づくりを心がけます。また、本年から、地域フォーラムの企画運営と、公民館活動への提言をいただく、運営委員会を設置し、その向上を図ることとしました。

特別委員会

住民の積極的参加を期待します

楽しく豊かな地域づくりを

水辺の広場委員会

委員長 棚田 守



設立五年目を迎えた水辺の広場委員会は小さな子供から

高齢者までが楽しめる憩いの場を目指し会員一七〇余名の方々また行政の協力により一歩一歩ではありますが楽しく豊かな地域づくりを目指しております。

今年度計画している主な事業の概要は次の通りです。

一、水辺の広場の環境整備
年三回の草刈ごみ拾い、災

害時対応訓練、アメリカシロヒトリの消毒、石川除保全への協力

二、資源調査及び保全活用
鯉のぼりの設置、水質調査の継続実施、河川敷活用、水環境保全ホテル等の先進地視察、水生生物観察会及び天竜川の水遊び、野鳥観察会と河原の収穫祭、ホテルの棲息地の環境保全、啓発看板の設置、文化祭展示作品作成
三、自活会と連携し渋谷区との交流の推進

以上が主な事業の概要ですが、特に新規事業の一つである渋谷区との交流につきましては前向きに取り組んでまいりたいと思います。又、欲の深いことかと思いますが手の届くものならムトス賞にも挑戦したいと思えます。今後とも地域の皆様の協力をよろしくお願いいたします。

ふるさと応援倶楽部の取り組み

企画委員長

古井 武志



ふるさと応援倶楽部は、平成二十年十一月スタートしま

したので、今年度四年目を迎えることとなりました。座光寺地区内では様々なグループがそれぞれ自主的に活発な取り組みをしています。それらのグループがお互いに連携をとりながら、結果として座光寺全体が元氣いっぱい地域のようになるお手伝いができるという思いで出来たのがこの「ふるさと応援倶楽部」です。各グループの代表により企画委員会を構成していろいろと意見交換をすることにし

原点に立ち返り

地域のために頑張ります

麻績の里振興委員会

委員長 今村 衛



春は麻績の里さくら祭りに始まり、座光寺夏祭りの応援、秋は元善光寺周辺への小菊の飾り付けや舞台校舎での演劇塾公演、冬は麻績神社での除夜の竹宵等により、年々マスコミにも取り上げられるようになってきました。昨年度は、南本城の環境整備に対し(財)長野県文化財保護協会から「文化財保護功労者表彰」を受賞。

ております。昨年から始まった東京の渋谷区との交流を充実させたいと考えております。表参道や山谷小学校に植えたリンゴや竹宵の皆さんによる交流などのほか、今年は渋谷の子どもたちが座光寺へ来て川遊びなどもやりたいというような話もあるようです。これから具体的な話し合いをしながら、私達座光寺地区にとっても渋谷の人たちにとっても有意義な取り組みにしたいものです。

竹宵では「キャンドルナイト最優秀賞」を、続いて長野県知事から「南信州地域づくり(くらし環境部門)大賞」を受賞。最後に麻績の里舞台校舎が飯田市の天然記念物に指定されました。当会は発足後八年を迎え、地域の活性化のために、会員の皆さんが「志を持ち、ずく」を出して活動も定着してきました。今年度は、東日本大震災の復興を願いつつ、メインは昨年同様の活動となりますが、会員一人ひとりが、原点に立ち返り活動の輪と和を広げ、さらに地域のために頑張りますので、地域の皆さんも応援と参加をよろしくお願いたします。

本年度の活動方針決定

高岡の森保存会

会長 石田 文夫



五月十二日の総会で、今年度の基本方針を決定。森の整備・保存は、例年通り三回の草刈り、植栽を実施します。群下で最大級の座光寺の宝の前方後円墳を擁する県の史跡の森を、しっかりと後世に残し伝えていきます。

平成十七年に地元の要望により整備事業を開始。作業当日は座光寺内だけでなく市内他地区からも多くの方が参加され、暗くうっそうとした木々をチェーンソーやノコギリで倒す姿は熱気と活気に満ちていました。あの貴重な体験を今後の活動に生かしていきたい。

今年度は整備作業と平行して親睦を深める事業を工夫しました。また、昨年度創設された「歴史に学び地域をたずねる会」の催し事業に協力し研修面を進めます。昨年度、案内看板を六基設置。本年は、歴史散策コースを検討し、案内

小冊子作成の取り組みに協力します。

駐車場の確保や運営、高岡古墳の国史跡指定へ向けての活動、ビジョン作りなど諸課題に協力し取り組みます。

地域全体を博物館に、そんな地域づくりを進めたい
歴史に学び地域をたずねる会
会長 小島 稔



座光寺の自然・歴史や文化を見つめ直し、記録・保存すると共に、学び合い、地域への誇りと愛着を深め、より良い地域づくりを進めようと、各種文化団体が、連携・協力し活動してきました。

昨年は、地域の貴重な資源の掘り起こしや地域を学ぶための講演会や講座を開いたり、新井原を中心に現存する六つの古墳に説明看板を設置しました。また、舞台桜の市天然記念物指定も実現できました。本年も、引き続き、県の元気づくり支援金をいただき、「地域全体を博物館に」との構想を持って、次のような活動を行っていきます。

○文化財の現状を見つめ、地域全体の保存・利活用について考えを共有します。

○地域を語る住民の存在が宝。現地学習会を大切にします。

○群方遺跡を高岡古墳群と一体的に整備するため、保存のあり方を研究すると共に、本年は看板設置を進めます。○古老達の昔語りを聞き、記録に留めていきます。等

備えあれば憂いなし



三月十一日の東日本の地震、津波の大惨事を、メディアの報道映像で映し出される惨状を見、防災に対する意識が変わったことでしょう。また、原子炉の放射能漏れが尚いっそう被災地に被害を拡大しています。

各家庭では、ご家族で話し合いを持たれ、災害時における備蓄品等の補給や点検をされたことと思います。もし、飯田地域に災害が起きたら、奉仕団としては、自

今年度の方針及び抱負

消防団分団長 佐々木 克仁



今年度、飯田市消防団座光寺分団の分団長を務めています。佐々木克仁です。

日赤奉仕団 熊谷 八千代

治会の指示に従い行動することになるでしょう。

奉仕団として現在は、炊き出しや救急処置法等を行っています。救急法の講習会がありますので、救急員以外の団員の方の参加を期待しています。

災害は、突然猛威を奮い総てを破壊します。災害時には慌てず、必要なものは場所を定め、家族で確認しておきましょう。



防技術大会において入賞し、飯伊消防技術大会に出場しました。又、ラッパ班、予防救護班も上位の成績を納め、総合で四位となれました。今年度は昨年以上を目指し団員一同、訓練に励んでいます。有事の際には訓練で培った結束力で一致団結して座光寺の為になるように頑張りたいと思っています。



大会に向け、熱の入った練習

年度末人事異動

○座光寺自治振興センター

松江 秀則 保健課から

塩澤 奈巳(保健師)

丸山地区担当から

池田 剛士

飯田市職員労働組合へ

関島 睦子(保健師)

竜丘地区担当へ

平成23年度 地域自治会予算

平成22年度 地域自治会決算

〈収入の部〉 (単位：円)

| 予算区分 | 金額 | 説明 |
|----------|------------|------------|
| 1. 会 費 | 17,500,000 | 個人、法人会費 |
| 2. 消防協力費 | 1,350,000 | 個人、法人 |
| 3. 補 助 金 | 10,457,000 | 市県からの各種補助金 |
| 4. 負 担 金 | 500,000 | 会議参加者負担金 |
| 5. 繰 入 金 | 0 | |
| 6. 繰 越 金 | 4,619,477 | 前期繰越金 |
| 7. 雑 収 入 | 40,000 | 利子、祝儀等 |
| 合 計 | 34,466,477 | |

〈収入の部〉 (単位：円)

| 予算区分 | 金額 | 説明 |
|----------|------------|------------|
| 1. 会 費 | 17,751,755 | 個人、法人会費 |
| 2. 消防協力費 | 1,300,000 | 個人、法人 |
| 3. 補 助 金 | 12,259,557 | 市県からの各種補助金 |
| 4. 負 担 金 | 240,875 | 会議参加者負担金 |
| 5. 繰 入 金 | 0 | |
| 6. 繰 越 金 | 3,298,338 | 前期繰越金 |
| 7. 雑 収 入 | 89,193 | 利子、祝儀等 |
| 合 計 | 34,939,718 | |

〈支出の部〉 (単位：円)

| 予算区分 | 金額 | 説明 |
|-------------|------------|----------------------|
| 1. 報 酬 | 840,000 | 委員報酬 |
| 2. 諸手当、報償 | 2,372,000 | 各種手当 |
| 3. 旅 費 | 850,000 | 地域外会議参加費 |
| 4. 消耗品、通信費 | 2,474,000 | 文具、郵送料、保険料等 |
| 5. 地域振興費 | 10,127,000 | 水辺の広場、麻績の里ふるさと応援倶楽部等 |
| 6. 各委員会費 | 7,678,000 | 環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館 |
| 7. 施設整備、管理費 | 500,000 | 麻績会館、防災倉庫 |
| 8. 備品購入費 | 150,000 | |
| 9. 負担金、助成金 | 3,255,000 | 自主防災、各区連絡会、麻績の里づくり |
| 10. 消防団助成金 | 1,300,000 | 消防団 |
| 11. 積 立 金 | 100,000 | 公共事業基金積立 |
| 12. 予 備 費 | 4,820,477 | |
| 合 計 | 34,466,477 | |

〈支出の部〉 (単位：円)

| 予算区分 | 金額 | 説明 |
|-------------|------------|----------------------|
| 1. 報 酬 | 870,000 | 委員報酬 |
| 2. 諸手当、報償 | 2,999,468 | 各種手当 |
| 3. 旅 費 | 841,920 | 地域外会議参加費 |
| 4. 消耗品、通信費 | 2,004,298 | 文具、郵送料、保険料等 |
| 5. 地域振興費 | 8,400,094 | 水辺の広場、麻績の里ふるさと応援倶楽部等 |
| 6. 各委員会費 | 8,246,000 | 環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館 |
| 7. 施設整備、管理費 | 690,526 | 麻績会館、防災倉庫 |
| 8. 負担金、助成金 | 2,967,935 | 自主防災、各区連絡会、麻績の里づくり |
| 9. 消防団助成金 | 1,300,000 | 消防団 |
| 10. 積 立 金 | 2,000,000 | 公共事業基金積立 |
| 11. 予 備 費 | 0 | |
| 合 計 | 30,320,241 | |

| | |
|-------------------------|------|
| 大宮 万上上北 駅南中恒清高河欠中中下共唐宮 | (地区) |
| 堤原万上上北 市駅前市市恒清水岡野中中下羽和宮 | (氏名) |
| 東崎才野新野場前場場川水岡野場原場和沢前 | |
| 園三岡三小 山黒北長松林西 山尾棚櫛鈴林湯熊竹 | |
| 原村嶋村島田柳原尾村岡住澤田原木澤谷内 | |
| 秀博正一 道武秀伸清賢利洋和秀周喜一 | |
| 樹人伸郎実篤潔成志樹圭文司昇治平美章樹治郎 | |

◆ 今年度地区長になられた皆さんです。一年間大変ご苦労様ですが、よろしくお願いいたします。

平成二十三年年度
地区長名簿
地区長の皆さんの
リーダーシップに
期待します

東日本大震災を教訓とした

座光寺地域自主防災計画

自主防災副会長 長 沼 春 雄

三月十一日発生した「東日本大震災」の未曾有の大災害を教訓として、必ずや近い将来に大災害が発生するものと想定し、昨年策定された「座光寺地域防災計画の見直し」を行い、東日本大震災の経験に基づき、より現実的な体制の強化に向けた取組みを行う。

災害時の住民の安全確保を最優先とし、災害発生後、安否確認、救助活動の着手ができるよう、各種リストの整理一時避難所↓区災害対策本部↓地域災害対策本部の情報伝達体制の確立を図る。

区災害対策本部↓地域災害対策本部の無線交信の技術の向上、避難所設置体制の充実、特に指定避難所の小学校体育館においては迅速化する必要がある。

各地区自主防災会における取組みとして被害があることを想定した防災体制の学習と意識の統一、各家庭での予防措置の実施、住宅の耐震無料診断、補強工事、家具転倒防止対策を行う防災訓練を実施し地域住民の連帯感と防災意識高揚を図る必要な資機材の整備を進める。

高齢者とのふれあい

健康福祉委員会

健康福祉委員会では、毎月二回、六会場の会所にて、二時間程行っている「いきいき広場」は、力を入れている事業の一つです。

現在六十人位の参加者がいて、おおむね六十五歳以上の方で、会場迄歩いて行く事の出来る方が参加者となっております。

参加されていました。又、五月二十二日には、二人暮らし高齢者声かけ訪問を行いました。

対象者は、八十七名でした。ティッシュペーパーを配布しながら、健康状態や、今困っている事などをお聞きして、色々なお話をさせて頂きました。

女性の方とは、久し振りに長時間お話が出来て、とても良かったです。

訪問して見て、一人暮らしの実態が良く解り、いきいき広場へのお誘いもして参りました。

二つの事業のお手伝いをさせて頂き、人と人とのつながりや会話の大切さを感じ、笑顔の集まるいきいき広場で、多くの方に楽しんで頂ける様にしたいものです。(今村)



みなさん真剣です (いきいき広場)

声

投稿欄

座光寺に来て…

「農家は『すく』が無いと出来ない。」と意味不明の言葉をかけられた事を鮮明に覚えていています。

埼玉県出身の私には「座光寺」なんて今まで聞いた事も無い地名であり、飯田市でさえ何処にあるのかわかりませんでした。そんな私が五年前の春、飯田市主催の「短期農業体験プログラム」(フーキングホリデー)に参加する為に初めて座光寺を訪れ、そして昨年の一月には晴れて飯田市民となりました。

最初の印象は、だいぶ遠いところに来てしまった…何を言っているのか分からない(飯田弁)…こんな所で大丈夫だろうか…と不安ばかり。

しかし、住めば都というように「空気は良い」「景色も良い」そしてなにより「人が良い」会つ方皆さんがとても良くしてくださり早く地域に馴染めました。初めは戸惑うような飯田の文化が多くあり、新参者には???な事は



里親の常間地さんと (左が小林さん)

かり。言葉では「すく」や「だに」など多くあります。食へ物ではあでんにネギだれ・赤飯まんじゅう…等々あります。四年経過した今はそれを楽しめるようになりました。

まだまだ一人前になるには時間がかかりそうですが、最近になり座光寺地区内に農業後継者として同じ年代の方々が増えて来ましたので、皆で座光寺の農業を盛り上げて行きたいと思います。

最後に里親研修制度を利用して、この座光寺にて三年間の研修を終えて今年より就農する事が出来ました。

研修中にお世話になった方々には本当に感謝しております。有難うございました。これからもよろしくお願い致します。(小林謙一)



400名の聴衆を魅了

★楽しんだコミュニティコンサート★

五月三日
 (火)「オーケストラと友に音楽祭2011」の一環として、名古屋フィルハーモニー交響楽団金管アンサンブル五名による「コミュニティコンサート」が、座光寺小学校体育館で開催されました。

会場には、聴衆約四百人が詰め掛け、J・C・ペッツェルの「舞踏組曲」、S・フオスター「ありし日の草競馬」など五曲の演奏に聴き入りしました。アンコールに代えて「ふるさと」が演奏されると、聴衆から一斉に歌声が起こり、会場は美しい音色と共感の渦に包まれました。

交流会では、「校歌」等歓迎演奏した金管バンドの子供達の楽器の扱いや音の出し方の質問にユーモアを交え丁寧に答え、「物まねができませんか?」との問いかけには、オートバイや救急車の擬音で応え、子供達が大喜びするなど和やかな時を持つことができました。

チューバ奏者の亀山さんは、「素晴らしい会場で多くの聴衆と楽しい時を過ごせた。特に子供達の素直さが印象に残る。」と話されていました。

なお、公民館や小学校PTA、公募委員からなる総勢七十名の実行委員は、県北部地震の被災者に入場料の一部を届けようと手作りの演奏会を心がけ、五万円と募金五千七百円を栄村に送りました。

この演奏会で生れた絆は、素晴らしい音楽の印象と共に、地域をつくる力となつて生きていくものと思われまます。



オーケストラと友に

六年 近藤 翔

ぼくは、オーケストラの人のえんそうを聞いて、すごいと思いました。なぜなら、えんそうするねいろが、とてもきれいだつたからです。ぼくも金管バンドをやっているけれど、あれほどきれいなねいろは、まだ出せません。ぼくもあんなふうに、きれいに出演してみたいです。

もう一つすごいと思ったのは、吹く音の速さです。特にトロンボーンをとても速く動かしていたのでとてもおどろきました。ぼくもあんな感じにやってみたいです。そして、いろんな曲をえんそうしてくれました。特に「こかげのさ

んぼ道」のえんそうが、心に残りました。

最後に質問コーナーというのをやりました。ぼくが、「何か楽器でものまねができますか?」と聞いたら、オートバイのエンジン音などをひろうしてくれました。ぼくも、たくさん練習して、オーケストラの人のようにうまくなりたいです。

プロの人たちの

えんそうを聞いて

六年 永田 綾香

ふだん、プロの人たちの生のえんそうは聞けないけど、オケ友で生で聞けて良かったんです。募金活動をしている人たちは、最後までいたり、一生けん命やっていたりと思いました。プロの人たちが、一曲終わるたびに、説明をしてくれて分かりやすかったです。

私は、その中でも最後にみんなが歌うところがいいと思いました。震災にあった人たちは、だんだんよくなつていくけどまだ大変な人たちがいるから、募金をしながらやるのはいいと思いました。募金をするのは、いいと思つたのでまたやってほしいと思つたしました。

オケ友 感想

六年 吉田 有

私は、まえ金管バンドをやっていたけど、オーケストラと友にを聞いて私がやっていたのよりもすごいと思いました。いろいろな楽器を使つて馬のおたけびをさいげんしている時とか、すごいと思つた。何曲も聞いて感動しました。また聞きたくなりました。聞けてよかったです。



No. 9

『地域の歴史にふれる』シリーズ

宮ノ前は大きく変わった

三月十二日の南本城の学習会で、宮ノ前まで城郭の範囲であるとお話がありました。そうなるのと現在の麻績小学校舎やグラウンド辺りは高い傾斜地と考えられます。文久二年（一八六二）の絵図を見ると、宮ノ前は大きく変わっていることが分かります。神社の石段が並び鳥居も二つあります。その前には石垣があります。今このグラウンドの西隅辺りに神主田畑家の屋敷が低い石垣の上にあります。その下側に「いなり塚の山道」と「並木沢」が石垣に添って並んでいます。田畑屋敷の石垣のほかに石垣がなく神社の参道は登り勾配で石段に繋がっています。神社の参道と並木沢の交差点には石橋があることが分かります。この石橋の位置はどの辺になるのでしょうか。現在の麻績小学校舎の前辺りかもしれません。並木沢はこの石橋下から参道の南側を流れています。

現在ある高い石垣は、麻績小学校舎が建てられた後何回にも亘って築かれた歴史があります。一番初めは明治八年で、山を崩して石垣を築き庭を広めたこと「北原家年代記」に書かれています。この石垣は現在に残されていないようです。その後、分かる範囲では明治二十五年に現在の校舎西側の石垣、明治三十一年には公民館裏の大石垣、昭和二年には大石垣の下の石垣、昭和十二年にはグラウンド東側の大石垣と竹田人形館庭園裏の石垣が築造されています。グラウンドの拡張も明治二十七年頃から四回以上に亘り、昭和二年大石垣前の新校舎増築の折に並木沢が暗渠に替えられ、昭和十二年東側の大石垣築造と共に暗渠も改良されて、現在の姿になったようです。



文久2年(1862年)宮ノ前周辺絵図

屋役の家が三軒ありました。文久の絵図には郷蔵や秋葉塔・金比羅塔が書かれています。郷蔵というのは村人から集めた年貢米を納める蔵で、その周りに柵が巡らせ、高札場もありました。その傍らには秋葉塔・金比羅塔が建てられています。この秋葉塔・金比羅塔は明治十年頃に神社前へ移転しています。明治十六年には郷蔵の横に戸長役場が建てられました。この役場は昭和八年に学校裁縫所を移転して、改築されています。郷蔵は大正時代まで「公衆所」と呼ばれ、火消組・青年会の会合に使われたり、夜学の間所であったといわれます。石

の大鳥居は明治二十一年に建立された「伊那一」といわれる大きな鳥居でこれだけが残されています。惜しいことには、丸い台石が埋まってしまっています。鳥居前の道路沿いには、如来寺前までに十一軒の屋敷が並んでいます。まんじゅう屋・桶屋・麴屋・床屋・菓子屋・酒屋・鍛冶屋などが並んでいます。如來寺の借家もあり、車屋・瓦屋もありました。明治三十年頃現在の農協から北の道路が新設されて北市場の商店街が出来る迄は、座光寺の中心的な商店街でありました。

二十三年度最初の広報十七号が出来上がりました。いかがでしたでしょうか。これから新しい顔ぶれで新鮮な広報を作っていくと思います。新しい感性、視点で親しみやすい広報を目指していきます。

今回は読みやすさを考え、一段三十八行だった所を三十四行にしてみました。字の大きさは変えずに紙面に余裕をもたせスッキリさせました。これを手始めに、作り方から見直し、より親しみやすくなれば良いと思います。

常に良い方向に向かい変わっていく、その為に多くの視点から考えていく、それが必要だと思えます。長い間やっていくと知らないうちに頭が固まってしまうようです。新メンバーはそれぞれ得意な物を持っていて適切な意見を出してもらえ、頭がほぐされていくと思います。

良い方向へ常に変化していく事は大事だと思います。考え方を換え、それを行動に移す。今年度はそうしてステツプアップしていきたいと思えます。

(熊谷)

編集後記